

情報公開文書

研究課題名	本邦における婦人科悪性腫瘍合併妊娠の調査
研究体制	<input type="checkbox"/> 長野赤十字病院が責任研究機関となる <input checked="" type="checkbox"/> 他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関： 三重大学)
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>三重大学医学部産科婦人科学教室</u> 氏名 <u>田畑 務</u> 当 院 所属 <u>産婦人科</u> 氏名 <u>本藤 徹</u>
研究期間	(西暦) 承認日より 2024 年 3 月 31 日まで
研究の概要	(研究の意義・目的・方法) 本邦における子宮頸癌および卵巣癌合併妊娠の発生頻度・治療方法・その予後を調査し、悪性腫瘍とその治療が妊娠・分娩・産褥にどのように影響したかを検討します。さらに、新生児の予後についても検討します。本研究は、本邦の周産期母子医療センターならびにがん診療連携拠点病院にて診断または治療された患者さんの情報を日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会が中心となって集め、解析します。
試料・情報	(試料・情報の項目) カルテから以下に関するデータを収集させていただきます。子宮頸癌または卵巣癌合併妊娠の診療に関する診療記録、臨床検査データ(病理診断、分娩週数、手術方法、治療方法、最終生存日など)ならびに出生時に関する診療記録(出生週数、出生時体重、性別、新生児合併症など)であり、新生児も対象となっています。
研究対象者	2012 年 1 月 1 日より 2017 年 12 月 31 日までの間に、妊娠中に子宮頸癌または卵巣癌と診断され、入院または通院し、診療を受けた方 なお、子宮頸癌は微小浸潤癌以上の病変で、卵巣癌は境界悪性腫瘍以上で非上皮性悪性腫瘍を含むものを対象とします。妊娠中とは妊娠が確認されてから分娩までの期間といたします。 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で、使用いたします。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>産婦人科</u> 氏名 <u>本藤 徹</u> TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439